



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月23日

上場会社名 キヤノン電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7739 URL <https://www.canon-elec.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)酒巻 久
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)石塚 巧 (TEL)03(6910)4111
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	20,028	5.5	1,842	14.2	2,163	36.9	1,622	31.9
2020年12月期第1四半期	18,985	△12.1	1,613	△25.9	1,580	△27.4	1,230	△29.0

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 1,959百万円 (109.4%) 2020年12月期第1四半期 936百万円 (△50.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年12月期第1四半期	円 銭 39.72	円 銭 —
2020年12月期第1四半期	30.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年12月期第1四半期	百万円 121,738	百万円 99,967	% 79.2
2020年12月期	117,211	97,629	81.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 96,439百万円 2020年12月期 95,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年12月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 45.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 なお、2021年12月期の1株当たり配当金については未定です。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,160	19.5	7,975	42.3	8,075	38.5	6,600	49.6	161.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期1Q	42,206,540株	2020年12月期	42,206,540株
2021年12月期1Q	1,356,815株	2020年12月期	1,356,448株
2021年12月期1Q	40,849,896株	2020年12月期1Q	40,834,105株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

2021年12月期の1株当たり配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えたうえで公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 事業の種類別セグメントの状況	2
(3) 財政状態に関する分析	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年第1四半期の世界経済・日本経済は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により経済活動が抑制されており、地域や製品によって一部持ち直しの動きが見られるものの、厳しい状況が現在も続いています。

このような状況の中、当社グループはコロナ禍でも競争力の強い製品に注力し、前年に発売したモバイルプリンター「BP-F400」等の新製品を拡販したほか、カメラ用部品や事務機用ユニットなど需要が回復した製品の増産対応を進めました。その結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は200億28百万円（前年同期比5.5%増）、連結経常利益は21億63百万円（前年同期比36.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億22百万円（前年同期比31.9%増）となりました。

なお、新規事業として取り組んでいる宇宙関連分野におきましては、2020年10月に打ち上げた当社製の超小型人工衛星「CE-SAT-IIB（シーイー・サット・ツービー）」と、打上げから3年半が経過した「CE-SAT-I（シーイー・サット・ワン）」は現在も実証実験を順調に進めており、地上や天体の高精細画像を日々撮影しております。さらに、衛星本体や撮影画像、内製コンポーネントの受注を順次開始しております。

当社子会社のスペースワン株式会社では、和歌山県串本町で日本初の民間企業が所有するロケット打上げ射場「スペースポート紀伊」の建設を進めており、2022年第1四半期中の小型ロケット打上げサービスの開始を目指し、ロケット事業に関しても事業化に向けて準備を進めております。

(2) 事業の種類別セグメントの状況

コンポーネントセグメントにおきましては、デジタルカメラ関係は、シャッターユニット等のカメラ部品について生産数が回復し、売上は増加しました。レーザープリンター・複合機向けのレーザーสキャナーユニットは、テレワーク等の生活スタイルの変化により個人向けを中心に受注が回復し生産数も伸びたため、売上は増加しました。なお、ベトナム子会社において生産を行っているプリンター部品は、ベトナム国内での新型コロナウイルス感染症の再流行により生産が当初の予定を下回り、売上が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は108億91百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は16億41百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

電子情報機器セグメントにおきましては、スキャナー製品関係では、米国や中国で販売が落ち込んだものの、欧州や日本国内では増加し、全体の売上はほぼ横ばいとなりました。ハンディターミナル関係では、前年に発売した新製品「BP-F400」をはじめとするモバイルプリンターの販売が前年を上回りましたが、ハンディターミナル本体やモバイル決済端末の販売が前年を下回り、売上は減少しました。レーザープリンター関係では、レーザープリンター本体やオプション等を推し進め、売上は堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は64億22百万円（前年同期比0.1%減）となりましたが、経費を削減したことにより営業利益は8億38百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

その他のセグメントにおきましては、情報関連事業は、情報セキュリティ対策ソフト「SML」でテレワーク向け分析パッケージの開発、提案を進めたほか、学校向け教務管理システム「SCHOOL AID（スクールエイド）」、顧客情報管理システム（CRM）等の受注活動を積極的に展開しましたが、各企業の収益悪化によりシステムへの投資が減少し、売上は減少しました。環境機器事業は、小型電動射出成形機・歯科用ミリングマシン「MD-500」の販売が前年を下回りましたが、工場向け生産装置の販売により売上は増加しました。医療関連機器は、薬剤分包機の販売が前年を下回り、売上は減少しました。なお、スペースワン株式会社では、世界的に高まりつつある小型人工衛星打上げの需要に応えるべく、小型ロケット打上げサービス開始に向けて準備を進めているため、費用が増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は27億15百万円（前年同期比7.9%増）、1億57百万円の営業損失となりました。

(3) 財政状態に関する分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,217億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ45億26百万円増加しました。流動資産は792億35百万円となり、33億1百万円増加しました。固定資産は425億2百万円となり、12億24百万円増加しました。うち有形固定資産は362億63百万円となり、9億81百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は217億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億88百万円増加しました。流動負債は164億47百万円となり、22億47百万円増加しました。固定負債は53億23百万円となり、59百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は999億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億37百万円増加しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しにつきましては、2021年1月27日に公表いたしました連結業績予想に変更ありません。

実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,833	27,215
受取手形及び売掛金	21,440	21,655
リース投資資産	492	443
商品及び製品	924	1,831
仕掛品	5,366	5,581
原材料及び貯蔵品	143	146
短期貸付金	22,000	20,000
その他	1,734	2,361
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	75,934	79,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,125	10,145
機械装置及び運搬具(純額)	2,875	2,716
工具、器具及び備品(純額)	3,152	3,226
土地	15,917	15,964
リース資産(純額)	3	2
建設仮勘定	3,205	4,207
有形固定資産合計	35,281	36,263
無形固定資産	1,648	1,658
投資その他の資産		
投資有価証券	2,061	1,981
繰延税金資産	1,659	1,987
その他	625	611
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,346	4,580
固定資産合計	41,277	42,502
資産合計	117,211	121,738

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,633	11,137
電子記録債務	447	538
リース債務	201	194
未払費用	1,326	906
未払法人税等	716	1,063
賞与引当金	429	1,432
役員賞与引当金	21	6
受注損失引当金	24	18
その他	1,398	1,150
流動負債合計	14,199	16,447
固定負債		
長期借入金	2,100	2,100
役員退職慰労引当金	204	200
退職給付に係る負債	2,768	2,761
繰延税金負債	22	20
その他	287	241
固定負債合計	5,383	5,323
負債合計	19,582	21,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,602	9,435
利益剰余金	85,148	85,749
自己株式	△2,522	△2,522
株主資本合計	97,197	97,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	369	313
為替換算調整勘定	△17	450
退職給付に係る調整累計額	△2,000	△1,955
その他の包括利益累計額合計	△1,648	△1,191
非支配株主持分	2,079	3,527
純資産合計	97,629	99,967
負債純資産合計	117,211	121,738

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	18,985	20,028
売上原価	14,791	15,523
売上総利益	4,193	4,504
販売費及び一般管理費	2,580	2,662
営業利益	1,613	1,842
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	11
助成金収入	0	91
為替差益	-	231
その他	14	4
営業外収益合計	29	339
営業外費用		
株式交付費	-	16
為替差損	60	-
その他	1	1
営業外費用合計	61	18
経常利益	1,580	2,163
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,580	2,163
法人税、住民税及び事業税	753	989
法人税等調整額	△309	△328
法人税等合計	444	661
四半期純利益	1,136	1,502
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△93	△119
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,230	1,622

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益	1,136	1,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△263	△56
為替換算調整勘定	△43	468
退職給付に係る調整額	106	45
その他の包括利益合計	△200	456
四半期包括利益	936	1,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,030	2,079
非支配株主に係る四半期包括利益	△94	△119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	10,037	6,431	16,468	2,516	18,985	—	18,985
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	117	172	290	71	361	△361	—
計	10,155	6,604	16,759	2,587	19,347	△361	18,985
セグメント利益 又は損失(△)	1,454	757	2,211	△117	2,093	△480	1,613

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	10,891	6,422	17,313	2,715	20,028	—	20,028
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	188	127	315	70	386	△386	—
計	11,079	6,549	17,629	2,786	20,415	△386	20,028
セグメント利益 又は損失(△)	1,641	838	2,480	△157	2,322	△480	1,842

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。